

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)						
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第2節 学校教育					事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策1 教育内容の充実					事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある				
事業	総合教育会議					施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	政策課					総合教育会議は、市長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議・調整の場として位置付けられており、近年、教育のDXや校舎の長寿命化改修工事など教育行政における課題が山積する中で、市長と教育長及び教育委員の間で意見交換を行い、教育行政の一層の充実のため、相互理解を深めた。 会議開催に当たっては、教育委員会会議の開催日に合わせて開催するなど、効率的な会議運営を行い、コスト発生抑制に努めているものの、審議内容についてはより一層の充実に向けて検討していく必要がある。						
事業概要	市長及び教育委員会により構成する新座市総合教育会議において、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策や緊急の場合に講ずべき措置について協議・調整を行う。											
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他											
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度											
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律											
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		<div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">II</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
予算・決算	予算現額 (円)	4,000					会議の審議内容の充実を検討しながら、今後も定期的に総合教育会議を開催し、市長と教育委員会がより一層の連携・協力を図り、地域の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図っていく。					
	財源内訳	一般財源	4,000									
		特定財源	0									
	支出済額 (円)	0										
	不用額等 (円)	4,000										
	執行率 (%)	0.00%										
実施内容		総合教育会議を開催し、新座市教育大綱に基づき、毎年度策定する教育行政推進施策に関する協議・検討を行った。 新座市総合教育会議の構成員 6人（市長、教育長、教育委員会委員） <令和5年12月21日開催> 審議内容 令和6年度新座市教育行政推進施策（案）について 教育委員会事務局からの報告										
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針					
指標名		単位					今後の取組方針					
活動指標・成果指標	総合教育会議開催回数	回	1									

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	児童派遣費助成			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析	大会出場に際して、児童の移動費のみだけではなく、楽器や運動用具等の運搬費用もかかるため、それらの費用を助成することにより負担の軽減となった。しかしながら、楽器等の運搬にかかる費用は上昇しており、学校はコスト意識を持っているもののコストを下げる余地はあまり大きくない。		
事業概要	クラブ活動などで大会等に出場する児童の派遣に要する費用について、助成を行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	新座市立小・中学校児童生徒派遣費助成金交付要領						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額 (円)		250,000				
	財源内訳	一般財源	250,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		249,732				
	不用額等 (円)		268				
	執行率 (%)		99.89%				
実施内容		新開小学校マーチングバンドに助成を行った。 1、マーチングバンド埼玉県大会 令和5年9月24日 2、マーチングバンド関東大会 令和5年11月11日					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		指標名	単位				
活動指標・成果指標	大会出場件数		回	2			
				III	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
				今後の方向性			
				今後の取組方針	今後も児童のクラブ活動での大会出場の派遣費用について、適切に助成を行っていく。		

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	林間学校助成（小学校）			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析	保護者が負担する費用の軽減を図ることにより、林間学校事業の充実をはかることが出来た。物価等が上昇していくなかで、各家庭への費用負担軽減は欠かせないものと思われる。		
事業概要	林間学校事業において、保護者が負担する費用の軽減を図るため、参加児童1人当たり2,000円の助成を行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	林間学校等助成金交付要領						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額（円）		2,906,000				
	財源内訳	一般財源	2,906,000				
		特定財源	0				
	支出済額（円）		2,846,000				
	不用額等（円）		60,000				
	執行率（%）		97.94%				
実施内容		林間学校事業において、保護者が負担する費用の軽減を図るため、参加児童1人当たり2,000円の助成を行った。小学校（17校）合計1,423人					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	助成人数	人	1,423				
				今後の方向性	Ⅲ	Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了	
				今後の取組方針	保護者が負担する費用の軽減のため、今後も助成を行っていく。		

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)					
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず			
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている			
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある			
事業	特別支援教育就学奨励（小学校）			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い			
所属	学務課			事業の成果・分析 障がいのある学齢児童の就学の事情を考慮し、学齢児童の保護者等の経済的負担の軽減を図るため、就学に伴う費用の一部を援助した。特別支援学級に在籍する児童生徒数は年々増えており、それに伴い就学奨励費の支給人数も年々増えている。援助の必要性が高まっているため、今後も事業の継続が必要である。					
事業概要	障がいのある学齢児童の就学の事情を考慮し、学齢児童の保護者等の経済的負担の軽減を図るため、就学に伴う費用の一部を援助する。								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他								
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度								
根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱								
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
予算・ 決算	予算現額（円）		3,717,000				今後の方向性 <div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin: 10px 0;">Ⅲ</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
	財源内訳	一般財源	1,595,000						
		特定財源	2,122,000						
	支出済額（円）		3,411,167						
	不用額等（円）		305,833						
	執行率（%）		91.77%						
実施内容		障がいのある学齢児童の就学の事情を考慮し、学齢児童の保護者等の経済的負担の軽減を図るため、就学に伴う費用の一部を援助した。 ・支給人数：98人 ・援助内容：学用品・通学用品購入費、校外活動費（宿泊を伴わないもの）、校外活動費（宿泊を伴うもの・林間学校含む。）、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費、修学旅行費、通学費、学校給食費					今後の取組方針 今後も障がいのある学齢児童の就学の事情を考慮し、学齢児童の保護者等の経済的負担の軽減を図るため、学用品・通学用品購入費、修学旅行費、学校給食費等の援助を行っている。		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
活動 指標・ 成果 指標	指標名	単位							
	支給人数	人	98						
	支給金額	円	3,411,167						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	生徒派遣費助成			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析	部活動などで大会等に出場する生徒の派遣費用について助成を行うことで、保護者の経費負担が図られている。しかしながら、移動費等の費用は物価高騰に伴い上昇する見込みであり、各学校はコスト意識をもっているもののコストを下げる余地はあまり大きくない。		
事業概要	部活動などで大会等に出場する生徒の派遣費用について、助成を行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	新座市立小・中学校児童生徒派遣費助成金交付要領						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算 ・ 決算	財源内訳	予算現額 (円)	6,723,000				
		一般財源	6,723,000				
	特定財源	0					
	支出済額 (円)	6,722,534					
	不用額等 (円)	466					
	執行率 (%)	99.99%					
実施内容		部活動などで大会等に出場する生徒の派遣費用について、助成を行った。 新座中 12件 第二中 38件 第三中 35件 第四中 23件 第五中 14件 第六中 15件 合計137件					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標 ・ 成果 指標	指標名	単位					
	出場件数	回	137				
今後の方向性		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 10px; font-size: 24px; font-weight: bold;">Ⅲ</div> <div style="text-align: left;"> <p>I：事業規模拡大</p> <p>II：改善しながら継続</p> <p>III：現状のまま継続</p> <p>IV：事業規模縮小</p> <p>V：事業廃止</p> <p>VI：事業終了</p> </div> </div>					
今後の取組方針		部活動などで大会等に出場する生徒の派遣費用について助成を行うことで、保護者の経費負担を図っていく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)			3 事業評価 (Check)						
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】		事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第2節 学校教育		事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策1 教育内容の充実		事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある				
事業	林間学校助成（中学校）		施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	学務課		事業の成果・分析	保護者が負担する費用の軽減を図ることにより、林間学校事業の充実をはかることが出来た。物価等が上昇していくなかで、各家庭への費用負担軽減は欠かせないものと思われる。					
事業概要	林間学校事業において、保護者が負担する費用の軽減を図るため、参加生徒1人当たり4,500円の助成を行う。								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他								
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度								
根拠法令等	林間学校等助成金交付要領								
2 事業実績 (Do)			4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 10px; font-size: 24px; font-weight: bold;">Ⅲ</div> <div style="font-size: 12px;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>	
予算・決算	予算現額（円）		6,316,000						
	財源内訳	一般財源	6,316,000						
		特定財源	0						
	支出済額（円）		5,904,000						
	不用額等（円）		412,000						
	執行率（%）		93.48%						
実施内容			林間学校事業において、保護者が負担する費用の軽減を図るため、参加生徒1人当たり4,500円の助成を行った。						
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	保護者が負担する費用の軽減のため、今後も助成を行っていく。	
活動指標・成果指標	指標名	単位							
	助成人数	人	1,312						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある		
事業	特別支援教育就学奨励（中学校）			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	学務課			事業の成果・分析 障がいのある学齢生徒の就学の事情を考慮し、学齢生徒の保護者等の経済的負担の軽減を図るため、就学に伴う費用の一部を援助した。特別支援学級に在籍する児童生徒数は年々増えており、それに伴い就学奨励費の支給人数も年々増えている。援助の必要性が高まっているため、今後も事業の継続が必要である。				
事業概要	障がいのある学齢生徒の就学の事情を考慮し、学齢生徒の保護者等の経済的負担の軽減を図るため、就学に伴う費用の一部を援助する。							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
予算・決算	予算現額 (円)		3,448,000					
	財源内訳	一般財源	1,846,000					
		特定財源	1,602,000					
	支出済額 (円)		3,062,161					
	不用額等 (円)		385,839					
	執行率 (%)		88.81%					
実施内容		障がいのある学齢生徒の就学の事情を考慮し、学齢生徒の保護者等の経済的負担の軽減を図るため、就学に伴う費用の一部を援助した。 ・支給人数：56人 ・援助内容：学用品・通学用品購入費、校外活動費（宿泊を伴わないもの）、校外活動費（宿泊を伴うもの・林間学校含む。）、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費、体育実技用具費、修学旅行費、通学費、職場実習交通費、学校給食費						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
活動指標・成果指標	指標名	単位						
	支給人数	人	56					
	支給金額	円	3,062,161					
今後の方向性				Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針				今後も障がいのある学齢生徒の就学の事情を考慮し、学齢生徒の保護者等の経済的負担の軽減を図るため、学用品・通学用品購入費、修学旅行費、学校給食費等の援助を行っている。				

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)						
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある				
事業	学校環境衛生検査			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	学務課			事業の成果・分析	学校環境衛生の維持・管理を図った。 栗原小学校（音楽室）の室内空気検査は、次年度検査免除基準を下回った。 毎年、学校環境衛生の維持・管理のため検査を実施していく必要がある。					
事業概要	学校保健安全法第6条に基づき、学校環境衛生の維持・管理を図るため、室内空気、飲料水及びプール水の衛生検査を行う。									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他									
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度									
根拠法令等	学校保健安全法									
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
予算・決算	予算現額 (円)		2,782,000				Ⅲ			
	財源内訳	一般財源	2,782,000						I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
		特定財源	0							
	支出済額 (円)		2,731,839							
	不用額等 (円)		50,161							
	執行率 (%)		98.20%							
実施内容		学校保健安全法第6条に基づき、室内空気、飲料水及びプール水の衛生検査を行った。 室内空気検査 1校（栗原小学校） 飲料水水質検査 23校（全小・中学校） プール水水質検査 20校（大和田小、西堀小、片山小、第四小、東北小、野寺小、池田小、新堀小、東野小、石神小、新開小、栗原小、陣屋小、新座小、新座中、第二中、第三中、第四中、第五中、第六中）								
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	検査の実施を継続し、学校環境衛生の維持・管理を図っていく。 プール水水質検査については、水泳授業を民間委託する学校が増えていることから委託校の減少により検査委託料の減額が予想される。			
活動指標・成果指標	指標名	単位								
	検査回数	回	1							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	国際理解教育推進			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	教育支援課			事業の成果・分析 グローバル化に対応する児童の育成には、外国語活動をとおして国際理解や国際的感覚を養うことは必須であり、成果としては、 ①ネイティブの発音や表現を学ぶ機会提供。②国際理解教育の推進と国際理解教育への貢献。③コミュニケーション能力の向上。④思考力・判断力・表現力の育成。 英語指導講師や英語指導助手を通して、様々な国の習慣や文化を学ぶことは、グローバルな社会に生きる人材の育成として必要不可欠である。しかし、児童生徒にコミュニケーション能力や、国際感覚をより一層養うためには、授業改善や外国語指導助手との連携、活用方法の工夫が必要であり検討が必要。				
事業概要	英語のネイティブスピーカー（母語としている人又はそれと同等の英語を話す人）を中学校に派遣することにより、生徒に直接生きた英語や異文化に触れさせ、体験を通して英語教育及び国際理解教育を推進する。 1 英語指導助手 6人 2 英語指導講師 1人（第二中学校 週2日配置）							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	教育基本法、学校教育法、外国語指導助手制度(JET)							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
予算・決算	予算現額 (円)		27,548,000					今後の方向性 <div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin: 10px 0;">II</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
	財源内訳	一般財源	27,548,000					
		特定財源	0					
	支出済額 (円)		26,942,108					
	不用額等 (円)		605,892					
	執行率 (%)		97.80%					
実施内容		埼玉県では、「語学指導等におけるネイティブスピーカー活用事業」に係る外国語指導助手を派遣することとしている。実施内容は (1) 業務就業先の担当教員の指導のもと、ティーム・ティーチングの実施 (2) 業務就業先における外国語教材の作成、提供 (3) 英語スピーチコンテスト、ディベート大会等に係る指導・審査 (4) 業務就業先における外国語教育に関する教員研修に係る業務 (5) 本県教育委員会が実施する外国語教育に関する研修や会議に係る業務 等						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
活動指標・成果指標	指標名	単位					今後の取組方針 ○非常に効果の高い事業である。 ・ 今後は、ICTを活用してよりグローバルな授業展開も考えていく。 ・ 外国語指導助手は、海外の方がほとんどであるため、様々な考え方、言葉の問題による授業内容の計画、相談、打合せが困難な場合もある。各学校の担任と充実した打ち合わせが行われ、授業内容の改善につながるようにする。 教育支援課が情報の取りまとめや、提案、研修会の実施等をして事業を継続していく。	
	低学年・特支EET指導時数(1クラス毎)	時間/年	10					
	中学年・高学年EET指導時数(1クラス毎)	回/週	1					
	英語専科指導時間数	時間/週	24					
英語スピーチコンテスト、ディベート大会	回	2						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	小学校体育連盟補助			施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	教育支援課			事業の成果・分析 小学校の体育振興、体力向上及びスポーツ精神向上するため、授業研修会の実施により、理論の深まりと指導法の工夫及び改善を図ることができた。体育実技講習会及び研究会の実施により、体育授業の改善につながるアイデアを多く共有することができた。今年度は、負担金の支出がなく、小学校の体育の授業で使用する物品等を購入することができたが、事業の効率性を上げるため、補助金の計画的な支出をするよう改善を図っていく必要がある。				
事業概要	小学校体育の振興、体力の向上及びスポーツ精神の育成を目的として、小学校体育連盟に対し、助成を行う。							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	新座市補助金等の交付に関する規則、団体等に交付する補助金等交付要綱							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性 <div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin: 10px 0;">II</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・ 決算	予算現額 (円)		242,000					
	財源内訳	一般財源	242,000					
		特定財源	0					
	支出済額 (円)		242,000					
	不用額等 (円)		0					
	執行率 (%)		100.00%					
実施内容		小学校体育の振興、体力向上及びスポーツ精神向上を目的として、小学校体育連盟に助成した。 小学校体育連盟の令和5年度の主な事業 1 理事会 2 授業研究 3 新座市体育実技伝達講習会及び研究会						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針 小学校の体育振興、体力向上及びスポーツ精神向上するため、補助金の活用について、計画的に支出をするよう改善を図っていく。	
活動 指標・ 成果 指標	指標名	単位						
	理事会	回	3					
	授業研究	回	2					
	体育実技講習会及び研究会	回	4					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)					
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず			
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている			
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある			
事業	中学校体育連盟補助			施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い			
所属	教育支援課			事業の成果・分析	授業研究部で、指導方法の研究に取り組み、市内全中学校で指導法の改善を図った。各競技種目専門部で、教科・普及に取り組み成果を上げた。学校体育協会加盟負担金の支出がなく、行事・授業を充実させられるよう、バトン及びスタート合図器を購入した。今年度は、負担金の支出がなく、中学校の体育の授業等で使用する物品等を購入することができたが、事業の効率性を上げるため、補助金の計画的な支出をするよう改善を図っていく必要がある。				
事業概要	中学校体育の振興、体力の向上及びスポーツ精神の育成を目的として、中学校体育連盟に対し、助成を行う。								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他								
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度								
根拠法令等	新座市補助金等の交付に関する規則、団体等に交付する補助金等交付要綱								
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
予算・決算	予算現額 (円)		808,000						
	財源内訳	一般財源	808,000						
		特定財源	0						
	支出済額 (円)		808,000						
	不用額等 (円)		0						
	執行率 (%)		100.00%						
実施内容		中学校体育の振興、体力向上及びスポーツ精神向上を目的として、中学校体育連盟に助成した。 1 朝霞地区大会 2 埼玉県陸上競技大会 3 強化練習 (通年) 4 授業研究					<div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">II</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	指標名	単位							中学校体育の振興、体力向上及びスポーツ精神向上を目的として、補助金の活用について、計画的に支出するよう改善を図っていく。
活動指標・成果指標	朝霞地区大会	回	1						
	埼玉県陸上競技大会	回	1						
	授業研究会	回	1						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	C	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	音楽会			施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	教育支援課			事業の成果・分析	インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染拡大のため、市内小・中学校音楽会は中止とした。今後の開催にあたり校長会を通じて検討していく。 南部地区小・中学校音楽会は音楽の表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する豊かな感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、情操豊かな児童生徒の育成に資する機会となり、日頃の音楽科の授業における学習成果の発表の場とし、教師の指導力の向上を図る場となった。			
事業概要	音楽会への参加を通して、児童生徒の表現力を高めるとともに、豊かな情操を培う。 1 市内音楽会 (1)参加者 各小学校1クラス、各中学校3クラス (2)予定会場 新座市民会館 2 南部地区音楽会 (1)参加者 小学校2校各1クラス、中学校1クラス (2)予定会場 戸田市文化会館							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	新座市立小、中学校管理規則第5条、6条							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 36px; font-weight: bold; margin-right: 10px;">II</div> <div style="text-align: left;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>	
予算・決算	予算現額 (円)	660,000						
	財源内訳	一般財源	660,000					
		特定財源	0					
	支出済額 (円)	348,268						
	不用額等 (円)	311,732						
執行率 (%)	52.77%							
実施内容		・市内小・中学校音楽会は、送迎バスを22台手配し、出場する児童生徒及び教職員約850名を搬送する。また、楽器運搬費を計上している。しかし、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、考え中止とした。 ・南部地区小・中学校音楽会は、送迎バス2台を手配し、約130名の児童生徒及び教職員を搬送する。また、楽器運搬費を計上している。						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	学習指導要領で音楽科の大きなねらいの柱として、表現力の育成を上げている。本事業は表現活動発表の機会として、大変意義あるものと考えているため、校長会を通じて検討していく。	
活動指標・成果指標	指標名	単位						
	南部地区小・中学校音楽会	回	1					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	国語科教育推進			施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	教育支援課			事業の成果・分析 例年行われている県の読書感想文コンクール及び硬筆展・書きぞめ展覧会において、新座市の児童生徒の作品が優秀な成績を収めている。また、新座市ホームページに書写作品を掲載することで、新座支部審査会の結果新座市の代表作品として中央審査会に出品された市内小学校、中学校、高等学校児童生徒の作品を、広く鑑賞してもらうことができた。書きぞめ実技研修会を全体ではなく、各小各校が必要に応じて実施することで、事業費の低減が望める。				
事業概要	児童生徒の豊かな心を育成するため、新座市読書感想文コンクールを実施し、さらに書写指導充実のため書き初め実技研修会を実施する。							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	なし							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性 <div style="text-align: center; font-size: 36px; font-weight: bold; margin: 10px 0;">IV</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・決算	予算現額 (円)		116,000					
	財源内訳	一般財源	116,000					
		特定財源	0					
	支出済額 (円)		110,393					
	不用額等 (円)		5,607					
	執行率 (%)		95.17%					
実施内容		・全国および県が主催する展覧会やコンクールへ出品する作品を、市独自の審査会で選定する。 ・市の代表作品となった児童生徒を、市独自の賞状を授与して表彰する。						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針 児童生徒の豊かな心を育成するためには、発達段階にあった適切な読書体験は必要であると考える。学校図書館教育主任が読書感想文審査の経験を通して、どのような読書活動を見直しをもって行うかを研修を行う。 書写指導の充実については、各学校の専科指導が広まりを見せているため、今後実技研修についての必要性が薄まることも考えられる。県の展覧会への参加は継続しつつ、作品の審査を通して指導生徒の資質能力育成に必要な研修を行う。	
活動指標・成果指標	指標名	単位						
	審査会実施回数	回	3					
	審査会参加数	人	46					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	科学教育振興展覧会			施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育支援課			事業の成果・分析	朝霞班内各小・中学校児童生徒が、自然に親しみ、科学的に解決するといった探求する機会を通して科学的研究物をまとめることにより、児童生徒の資質の向上を図り、科学教育の振興に資することができた。		
事業概要	科学教育の充実に資するため、児童生徒の作品を科学教育振興展覧会朝霞支部展、科学教育振興展覧会北足立地区展及び埼玉県科学教育振興展覧会に出展する。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">Ⅲ</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
予算・決算	予算現額 (円)	216,000					
	財源内訳	一般財源		216,000			
	特定財源		0				
	支出済額 (円)	37,117					
	不用額等 (円)	178,883					
	執行率 (%)	17.18%					
実施内容		朝霞班の市立各小中学校より各校2点まで出展された作品の審査					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	朝霞支部科学教育振興展覧会に係る審査会		回	1			

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)							
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】						事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず					
施策領域	第2節 学校教育						事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている					
施策項目	施策1 教育内容の充実						事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある					
事業	図工美術展						施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い					
所属	教育支援課						事業の成果・分析	県内小・中学校等児童生徒の図画工作・美術作品を展示し、公開することにより、図画工作・美術教育が充実した。						
事業概要	図画工作科・美術科教育の充実に資するため、児童生徒の作品を埼玉県小・中学校児童生徒美術展に出展する。													
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他													
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度													
根拠法令等	なし													
2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)							
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了				
予算・決算	予算現額 (円)		186,000											
	財源内訳	一般財源	186,000											
		特定財源	0											
	支出済額 (円)		46,000											
	不用額等 (円)		140,000											
	執行率 (%)		24.73%											
実施内容		児童生徒の作品を埼玉県小・中学校児童生徒美術展に出展した。					今後の取組方針	県内小・中学校等児童生徒の図画工作・美術作品を展示し、公開することにより、図画工作・美術教育が充実させる。						
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度							令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位												
	出展回数	回	1											

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	C	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	キャリア教育体験			施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	教育支援課			事業の成果・分析 中学生を社会体験活動（職場体験）に参加させることによって集団の中での自分の役割を自覚するとともに、働くことの意義や社会に参加する喜びを育むことができる。また、汎用的な能力について自覚する契機ともなる。学校・家庭・地域が連携して取り組むことで、それぞれの役割が明確になり、地域の子どもを育成する意識や協力体制を確立し、キャリア教育を推進することになる。 ただ、令和2年度から令和5年度まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、しばらく実施できていない状況である。その中で、職場体験学習に代わる新たなキャリア教育体験が各校で実践されており、市としてキャリア教育について方向性を示しつつも、各校・地域の実態に応じた体験活動を市としてどのように支援していくかが課題である。				
事業概要	豊かな感性や社会性、自立心を養い、豊かに生きる力を身に付け、社会の変化に流されることなく様々な課題にたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができるよう、地域の中のいろいろな事業所において職場活動を体験させる。							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	新座市職場体験学習推進委員会開催要綱							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
予算・決算	予算現額 (円)		0				II I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	今後の方向性
	財源内訳	一般財源	0					
		特定財源	0					
	支出済額 (円)		0					
	不用額等 (円)		0					
	執行率 (%)							
実施内容		令和5年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。				今後の取組方針 国や県が体験活動を推進しているため、キャリア教育に関わる体験活動は必須であると考えられる。しかし、教員の働き方改革も叫ばれているとおりである。よって、新たな形態で実施するキャリア教育体験を実施すべく、民間企業との連携を視野に入れていく。		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
指標名		単位						
活動指標・成果指標	参加人数	人	0					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)		
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】						事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域	第2節 学校教育						事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目	施策1 教育内容の充実						事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある
事業	理科教育支援事業						施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属	教育支援課						事業の成果・分析	児童が実際にプログラミング教材を使用することでプログラミングの仕組みを知ることができる。トライ＆エラーを繰り返すことでプログラミング的思考力の育成にも役立っている。	
事業概要	理科におけるプログラミング体験を支援する。								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他								
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度								
根拠法令等	なし								
2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・決算	予算現額 (円)	493,000							
	財源内訳	一般財源	493,000						
		特定財源	0						
	支出済額 (円)	476,000							
	不用額等 (円)	17,000							
	執行率 (%)	96.55%							
実施内容		市内全小中学校に希望する期間(1か月間)プログラミング教材のレンタルを行った。					今後の取組方針	プログラミングの基本から応用まで学習できるよう、より一層の活用が図られるように周知していく。	
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	指標名	単位							
活動指標・成果指標	レンタル回数	回	17						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)			3 事業評価 (Check)						
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】		事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第2節 学校教育		事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策1 教育内容の充実		事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある				
事業	学校水泳指導委託		施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	教育支援課		事業の成果・分析	<p>天候や気温に左右されることなく、計画通り水泳指導の計画を実施し、民間のインストラクターの専門的な水泳指導を加えることで、より高い安全性の確保と児童の泳力向上を図ることができた。</p> <p>また、技術的な指導をインストラクターが行うことにより、担任等が児童の安全面の指導や評価に専念することができた。</p> <p>なお、水泳指導実施校が増えてきたことにより、受注業者より、児童が移動するためのバスの確保や指導する人員不足が課題として見えてきた。</p>					
事業概要	令和4年度の実績に基づき、市内一部の学校における水泳指導について、民間のスイミングスクールに委託する。								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他								
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度								
根拠法令等	なし								
2 事業実績 (Do)			4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">II</div> <div> <p>I：事業規模拡大</p> <p>II：改善しながら継続</p> <p>III：現状のまま継続</p> <p>IV：事業規模縮小</p> <p>V：事業廃止</p> <p>VI：事業終了</p> </div> </div>	
予算・決算	予算現額 (円)		13,390,000						
	財源内訳	一般財源	13,390,000						
		特定財源	0						
	支出済額 (円)		13,040,940						
	不用額等 (円)		349,060						
	執行率 (%)		97.39%						
実施内容			<p>学校の水泳指導について、専門的な質の高い水泳指導、安全を確保した運営体制による指導を行うため、民間のスイミングスクールに委託した。</p> <p>【実施校】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 栄小学校 2 八石小学校 3 野火止小学校 						
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<p>水泳指導を業務委託する学校数を令和6年度に2校、令和7年度に2校、令和8年度に2校増やして、令和8年度までに合計9校まで増やす方針であるが、水泳指導実施校が増えてきたことにより、受注業者より、児童が移動するためのバスの確保や指導する人員不足が課題として見えてきた。</p> <p>そのため、水泳指導を委託する業者を増やすことや中学校のプール施設を整備し、近隣小学校と合同で使用するなど、様々な取組方法を検討していく。</p>	
活動指標・成果指標	指標名	単位							
	栄小学校水泳指導	円	3,354,200						
	八石小学校水泳指導	円	2,890,800						
	野火止小学校水泳指導	円	5,610,400						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)								
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況	A	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず						
施策領域	第2節 学校教育					事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている						
施策項目	施策1 教育内容の充実					事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある						
事業	授業時数の弾力化に係るモデル校事業					施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い						
所属	教育支援課					事業の成果・分析 授業時数の弾力化に係るモデル校事業の委嘱により、授業時数を弾力的に取扱い、課題の解決のプロセスにおいて考察して考えを深めるために必要な資料を自ら収集する「探究的な学習」をする能力を育成する学習を重点的に展開することができた。生徒が学習の過程で「他者の話を聞き、そのことで自分の考えを再構築する」ことの価値を認識することができた。								
事業概要	「授業時数の弾力化に係るモデル校事業」のモデル校として、新座市立第二中学校が指定されたことから、新座市が埼玉県から委託を受けて事業を実施する。 期間：令和4～5年度 委託費：100千円/年（予定） 補助率：100/100													
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他													
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度													
根拠法令等	学校教育法施行規則第55条の2													
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)								
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">今後の方向性</td> <td style="width: 10%; text-align: center; font-size: 36px; font-weight: bold;">VI</td> <td style="padding: 5px; font-size: 10px;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の取組方針</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		今後の方向性	VI	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	今後の取組方針		
今後の方向性	VI	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了												
今後の取組方針														
予算・決算	予算現額 (円)	100,000												
	財源内訳	一般財源	0											
		特定財源	100,000											
	支出済額 (円)	100,000												
	不用額等 (円)	0												
	執行率 (%)	100.00%												
実施内容		新座市教育委員会の委嘱研究発表と兼ねて研究発表会を実施した。 <令和6年1月31日(水)実施>												
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度								
	指標名	単位												
活動指標・成果指標	研究発表会開催回数	回	1											

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	A	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある		
事業	教育相談			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	教育相談センター			事業の成果・分析 不登校、友人関係、性格・行動、学習・進路等、相談内容が多岐にわたる中、児童生徒及び保護者と丁寧に関わり支援を進めることができた。支援にあたっては、子ども支援課、児相、警察等とも連携を取り、進めることができた。				
事業概要	教育相談室では、電話相談、面接相談のほか、登校できない子どもたちのための適応指導教室「ふれあいルーム」を設置し、支援に当たる。また、中学校にさわやか相談員を配置し、学校を拠点として同様に取り組む。さらに、特別な配慮を要する児童生徒の登校支援のためにピアサポーターを配置する。不登校児童・生徒のための支援策として、適応指導教室「とことこがらすのへや」を設置する。							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	学校教育法施行規則、児童福祉法							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 40px; height: 40px; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin-right: 10px;">I</div> <div style="width: 60%;"> <p style="margin: 0;">I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了</p> </div> </div>	
予算・決算	予算現額 (円)	44,982,000						
	財源内訳	一般財源	40,133,000					
		特定財源	4,849,000					
	支出済額 (円)	43,697,505						
	不用額等 (円)	1,284,495						
	執行率 (%)	97.14%						
実施内容		相談員による登校支援、相談業務、SSWによる家庭訪問、登校支援、教育相談等を行い、児童生徒及び保護者の教育相談の充実を進める。						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 40%;"></div> <div style="width: 60%;"> <p style="margin: 0;">教育相談は、ここ数年間で加速度的に増加しており、それに伴い、市民の関心やニーズも高まっていると推察できる。今後も市長部局と連携・協力を図り、支援の充実を進めていく。また、年々高まっている市民の関心やニーズに適切に応えられるよう、適切な人員配置についても調整を進めていく。</p> </div> </div>	
活動指標・成果指標	指標名	単位						
	教育相談回数	回	3,727					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	特別支援教育整備			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育相談センター			事業の成果・分析	令和4年12月に文科省より、通常の学級にいる配慮が必要な児童生徒の割合が8.8%いるという数値が発表された。支援学級だけでなく、通常の学級においても個別の教育的ニーズを必要としている児童生徒が増えており本市においても同じである。本市の特別支援教育支援員・介助員のニーズは大変高いものであり、各学校において児童生徒の特性に応じた支援、登校支援、各教科の学習参加における支援、校外学習における安全確保の支援、とその活躍も様々である。各学校より、増員の要請もあり、本事業の評価は大変高いものとなっている。		
事業概要	介助員や支援員の配置を行い、特別支援学級や通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒について一層の教育的支援を図る。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	特別支援教育支援員設置要綱 介助員設置要綱						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">I</div> <div style="margin-left: 10px;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>
予算・決算	予算現額 (円)	113,211,000					
	財源内訳	一般財源	113,211,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)	109,838,127					
	不用額等 (円)	3,372,873					
執行率 (%)	97.02%						
実施内容		・特別支援教育支援員を全小・中学校に配置し、個別の教育的ニーズに対応している。 ・障がいの重い児童生徒には介助員を配置し、学習や生活の介助にあたっている。					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	特別支援教育支援員については、計画的に増員し、小学校においては各学校3名配置を目指していく。 中学校における支援は、学習支援のニーズが高まってくる学年であることから、教員免許を持っている支援員の増員を目指していく。 介助員については、障がいの重い児童生徒や医療ケアが必要な児童生徒の公立学校への入学編入が増加する見込みであることから、計画的に応募を行い、適切な配置を行えるようにしたい。
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	令和4年度就学相談件数	件	313				
	令和5年度特別支援学級在籍児童生徒数	人	264				

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策1 教育内容の充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	日本語指導員派遣			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育相談センター			日本語指導が必要な児童生徒の人数が年々増加傾向であり、支援のニーズが高まっている。中でも、日本に来て間もない児童生徒の支援を行うことは容易ではなく、日本語の指導のみならず、日本の学校における生活様式に順応するための支援が求められる。日本語指導員と外国籍児童生徒サポーターの学習補助、生活補助の支援が、日本の学校生活に適応するために大変有効であった。学校でも広く認知され、要請も増えている状況である。			
事業概要	小・中学校に編入したばかりの外国籍児童生徒等のために、日本語指導員及び外国籍児童生徒サポーターが日本語の指導を行ったり、生活面での支援を行ったりして学校への適応促進を図る。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	日本語指導員要綱 外国籍児童生徒サポーター要綱						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額 (円)		2,256,000				
	財源内訳	一般財源	2,256,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		2,166,595				
	不用額等 (円)		89,405				
	執行率 (%)		96.04%				
実施内容		・日本語指導が必要な児童が多い新座小学校と第四小学校に日本語指導教諭（県費職員）が配置されており、日本語指導員は日本語指導教諭と共に支援・指導を行っている。 ・日本語習得のレベルに合わせた教材準備と学習の提供、在籍学級における入り込みの支援を行っている。 ・外国籍児童生徒サポーターは、日本に来て間もない児童生徒に対し、日本の学校生活に慣れるまでの短期的な支援を行っている。支援内容は学習補助、日本語指導（特別の教育課程外）である。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	令和5年度日本語指導対象児童生徒数	人	53				
				今後の方向性 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> I I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div>			
				今後の取組方針 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> 令和6年度、野火止小学校に日本語指導教室が設置され、日本語指導教諭も配置されたが、日本語指導員の配置がまだ行われていない。令和7年度に向け、日本語指導員を1名配置する予定である。 また、今後、日本語指導が必要な児童生徒の数が増加の見込みであることから、日本語指導教室が増設されたり、支援が必要な児童生徒が多く在籍している学校には日本語指導員を計画的に増員していく。 日本への編入児童生徒の増加が見込まれる場合は外国籍児童生徒サポーターの派遣回数を増やし、適切に支援にあたるようにする。 </div>			

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)		3 事業評価 (Check)	
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】	事業の実施状況	C
施策領域	第2節 学校教育	事業の必要性【市民ニーズ】	A
施策項目	施策2 教育活動の質の向上	事業の効率性【見直す余地】	B
事業	中学校部活動推進	施策への貢献度	B
所属	教育支援課	<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: 0.8em;"> A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: 0.8em;"> A：高まっている B：変わらない C：薄れている </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: 0.8em;"> A：余地はない B：余地はある </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: 0.8em;"> A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い </div>	
事業概要	令和5年度から始まる部活動改革推進期間における地域移行の検討を円滑に進める目的で、協力者と会議を複数回開催する。生徒の心身の健やかな発達を促し、豊かな人間形成のため部活動の充実を図る。部活動の顧問が専門的な技術指導をすることのできない運動部及び文化部の部活動において、ボランティア指導員を配置する。	部活動ボランティアの活用は、大会等で結果として実績を残している。専門性の指導の重要性を感じる。熱心で献身的な指導者が多く、生徒の活動に大いに貢献している。一方で、部活動地域移行に係る会議については、国や県の状況や市内中学校部活動の課題等を把握するだけにとどまり思うような進捗がなかった。また、部活動の地域移行については、教員の働き方改革の視点や中学生にスポーツを幅広く自由に親しむ機会を増やし、地域の力を活用していく必要がある。	
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他	事業の成果・分析	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度		
根拠法令等	埼玉県中学校部活動の在り方に関する方針		

2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: 2em; align-items: center;"> II <div style="font-size: 0.8em;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>		
予算・決算	予算現額 (円)	835,000							
	財源内訳	一般財源	835,000						
		特定財源	0						
	支出済額 (円)		540,000						
	不用額等 (円)		295,000						
	執行率 (%)		64.67%						
実施内容		部活動ボランティアについて部活動顧問が専門的な技術指導をすることのできない運動部及び文化部の部活動において、放課後や休日の活動の際、ボランティア指導員の指導を受けるものである。1回2時間を目安とし、年30回以上の指導を受ける。令和5年度は21名(運動部活動19名、文化部活動2名)の指導員が活動した。部活動地域移行に係る検討会議の実施はなし。							
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	部活動検討委員会を実施し、課題の精査及び部活動地域移行の方向性を具体的に検討し令和8年度実施に向けて体制を整えていく。		
活動指標・成果指標	指標名	単位							
	部活動ボランティア指導員配置数	人	21						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)		
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域	第2節 学校教育					事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目	施策2 教育活動の質の向上					事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある
事業	小学校運営					施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属	教育総務課					事業の成果・分析	各校の規模や児童数等の実上に合わせて予算配分をし、過不足なく小学校運営を行い教育活動の質の向上に寄与することができたと考える。	
事業概要	小学校の運営に必要な消耗品費、印刷製本費、修繕料などの共通経費を各校に配分する。							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	なし							
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 36px; font-weight: bold; margin-right: 10px;">Ⅲ</div> <div style="font-size: 10px;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>	
予算・決算	予算現額 (円)	63,235,000						
	財源内訳	一般財源	63,235,000					
		特定財源	0					
	支出済額 (円)	62,689,201						
	不用額等 (円)	545,799						
	執行率 (%)	99.14%						
実施内容		小学校運営に必要な共通経費を各校に対して児童数及び学級数に応じて予算を配分し、各校の状況に応じて予算執行した。 当該事業において実施した主な内容は以下のとおり。 ・消毒液や校名入り封筒等の消耗品の整備 ・校舎施設や教材備品などの修繕 ・ピアノ調律 ・調理実習用包丁研磨 等						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	各校からの要望を把握しつつ重要性及び緊急性を熟慮のうえ、過不足の無い小学校運営を継続して行い、教育活動の質の向上を図る。	
活動指標・成果指標	指標名	単位						
	学校配当予算執行率	%	99.14					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育					事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策2 教育活動の質の向上					事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	中学校運営					施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育総務課					事業の成果・分析	各校の規模や生徒数等の実上に合わせて予算配分をし、過不足なく中学校運営を行い教育活動の質の向上に寄与することができたと考える。		
事業概要	中学校の運営に必要な消耗品費、印刷製本費、修繕料などの共通経費を各校に配分する。								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他								
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度								
根拠法令等	なし								
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 40px; height: 40px; border: 2px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin-right: 10px;">Ⅲ</div> <div style="font-size: 12px;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>	
予算・決算	予算現額 (円)		34,790,000						
	財源内訳	一般財源		34,790,000					
		特定財源		0					
	支出済額 (円)		34,373,694						
	不用額等 (円)		416,306						
	執行率 (%)		98.80%						
実施内容		中学校運営に必要な共通経費を各校に対して生徒数及び学級数に応じて予算を配分し、各校の状況に応じて予算執行した。 当該事業において実施した主な内容は以下のとおり。 ・消毒液や校名入り封筒等の消耗品の整備 ・校舎施設や教材備品などの修繕 ・ピアノ調律 ・調理実習用包丁研磨 等							
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	各校からの要望を把握しつつ重要性及び緊急性を熟慮のうえ、過不足の無い中学校運営を継続して行い、教育活動の質の向上を図る。	
活動指標・成果指標	指標名	単位							
	学校配当予算執行率	%	99.8						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策2 教育活動の質の向上			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	小中学校用務委託			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析	業務は下記のようなものを行い、学校運営において欠かせないものとなっている。 1、学校管理関係 2、湯茶関係 3、清掃関係 4、環境整備関係 5、暖房機関係		
事業概要	小・中学校に学校用務員を配置する。 1 小学校 17校 2 中学校 6校						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)	43,436,000					
	財源内訳	一般財源	43,436,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)	43,435,365					
	不用額等 (円)	635					
	執行率 (%)	100.00%					
実施内容		小学校17校及び中学校6校、合計23校に用務員を配置し、主に以下の業務を行った。 1、学校管理関係 2、湯茶関係 3、清掃関係 4、環境整備関係 5、暖房機関係					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	配置校数	校	23				
今後の方向性				Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
今後の取組方針				各学校で従事する業務を精査しながら、より良い学校運営が行われるように図っていく。			

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策2 教育活動の質の向上			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	学校教育管理運営支援			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析	必要に応じて会計年度任用職員（図書整理員／栄養士（委託校）／教職員（病休代員等）／スクール・サポート・スタッフ）を学校に配置したことにより、学校教育及び学校管理運営を支援することが出来た。		
事業概要	学校教育及び学校管理運営を支援するため、必要に応じて会計年度任用職員（図書整理員／栄養士（委託校）／教職員（病休代員等）／スクール・サポート・スタッフ）を学校に配置する。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	市町村立小中学校外部人材配置事業費補助金交付要綱（スクール・サポート・スタッフ）						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額（円）		63,838,000				
	財源内訳	一般財源	58,023,000				
		特定財源	5,815,000				
	支出済額（円）		61,868,092				
	不用額等（円）		1,969,908				
	執行率（％）		96.91%				
実施内容		学校教育及び学校管理運営を支援するため、必要に応じて会計年度任用職員（図書整理員／栄養士（委託校）／教職員（病休代員等）／スクール・サポート・スタッフ）を学校に配置した。 ・図書整理員23人、栄養士9人、教職員19人、スクール・サポート・スタッフ23人					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	配置人数	人	74				
				今後の方向性			
				Ⅲ			
				I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
				今後の取組方針			
				学校教育及び学校管理運営を支援するため、必要に応じて会計年度任用職員（図書整理員／栄養士（委託校）／教職員（病休代員等）／スクール・サポート・スタッフ）を学校に配置していく。			

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策2 教育活動の質の向上			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	小学校第一学年副担任			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析 1年生で身につけさせたい基本的な生活習慣や学習習慣・学習内容マスターチェックによる結果 令和5年7月時点 15項目平均81.3% 令和6年2月時点 25項目平均89.0% (基礎的15項目比較 14項目定着率アップ) 学級担任以外に副担任を配置したことにより、児童一人一人に対するきめ細やかな指導ができ、教育効果を高めることができた。			
事業概要	小学校1年生にきめ細かい教育を実施するため、市立小学校1年生の学級を担任する教員を補助する副担任を配置する。 教員(副担任) 14人						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額 (円)		36,578,000				
	財源内訳	一般財源	36,578,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		35,739,156				
	不用額等 (円)		838,844				
	執行率 (%)		97.71%				
実施内容		小学校1年生にきめ細かい教育を実施するため、市立小学校1年生の学級を担任する教員を補助する副担任を配置した。 教員(副担任) 14人 目安として、1学級30人以上で2学級以上に1人配置。3学級で最低1人、5学級で最低2人配置。 なお、必要に応じて配置できる。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		指標名	単位				
活動指標・成果指標	配置人数	人	14				
		今後の方向性 <div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin: 10px 0;">Ⅲ</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了					
		今後の取組方針 市立小学校1年生の学級を担任する副担任を配置していき、これからもきめ細かい教育を実施していくことをはかっていく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策2 教育活動の質の向上			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	学校管理運営費助成（小学校）			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析 学校と地域、関係団体との連携強化のための助成を図ることができた。 教育活動に係る施設・設備・備品（大型農耕機等）の借用に関する謝礼金等や地域の諸行事（夏祭り等）の祝い金等・児童や保護者の不慮の事故に伴う弔慰金及び見舞金について、助成を行うことが出来た。			
事業概要	教育活動に係る施設・設備・備品等の借用に関する謝礼金等や、児童の不慮の事故に伴う弔慰金及び見舞金について、助成を行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	新座市立小・中学校管理運営費助成に関する要綱						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額（円）		255,000				
	財源内訳	一般財源	255,000				
		特定財源	0				
	支出済額（円）		190,000				
	不用額等（円）		65,000				
	執行率（%）		74.51%				
実施内容		教育活動に係る施設・設備・備品等の借用に関する謝礼金等や、児童の不慮の事故に伴う弔慰金及び見舞金について、助成を行った。 1、学校管理運営費助成金 10,000円×17校 2、香典料 5,000円×4件					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	学校管理運営費助成金合計額	円	170,000				
		今後の方向性 <div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin: 10px 0;">Ⅲ</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了					
		今後の取組方針 教育活動に係る施設・設備・備品等の借用に関する謝礼金等や、児童の不慮の事故に伴う弔慰金及び見舞金について、助成を行っていく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策2 教育活動の質の向上			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	学校管理運営費助成（中学校）			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析	学校と地域、関係団体との連携強化のための助成を図ることができた。 教育活動に係る施設・設備・備品（大型農耕機等）の借用に関する謝礼金等や地域の諸行事（夏祭り等）の祝い金等・児童や保護者の不慮の事故に伴う弔慰金及び見舞金について、助成を行うことが出来た。		
事業概要	教育活動に係る施設・設備・備品等の借用に関する謝礼金等や、生徒の不慮の事故に伴う弔慰金及び見舞金について、助成を行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	新座市立小・中学校管理運営費助成に関する要綱						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
予算・決算	予算現額（円）		120,000				
	財源内訳	一般財源	120,000				
		特定財源	0				
	支出済額（円）		95,000				
	不用額等（円）		25,000				
	執行率（%）		79.17%				
実施内容		教育活動に係る施設・設備・備品等の借用に関する謝礼金等や、生徒の不慮の事故に伴う弔慰金及び見舞金について、助成を行った。 1、学校管理運営費助成金 10,000円×6校 2、香典料 5,000円×7件					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	学校管理運営費助成金合計額	円	60,000				
今後の方向性				Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
今後の取組方針				教育活動に係る施設・設備・備品等の借用に関する謝礼金等や、生徒の不慮の事故に伴う弔慰金及び見舞金について、助成を行っていく。			

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】						事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育						事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策2 教育活動の質の向上						事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある		
事業	教育活動及び学校運営支援（中学校）						施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	学務課						事業の成果・分析 中学校の教育活動及び学校運営を様々な形で支援することが出来た。 ・卒業記念品 卒業証書用筒 316,430円 ・怪我をした生徒を病院へ搬送するためのタクシー代 88,210円				
事業概要	中学校の教育活動及び学校運営を支援する。										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他										
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度										
根拠法令等	なし										
2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	III	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
予算・決算	予算現額 (円)		582,000								
	財源内訳	一般財源	582,000								
		特定財源	0								
	支出済額 (円)		404,640								
	不用額等 (円)		177,360								
	執行率 (%)		69.53%								
実施内容		中学校の教育活動及び学校運営を支援する。 主な実施内容は以下のとおりである。 1、卒業記念品の贈呈 2、校外授業における引率教職員の入場料 3、怪我をした児童を病院へ搬送するためのタクシー代									
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針 今後も支援するものについて精査しながら、中学校の教育活動及び学校運営を支援する。			
活動指標・成果指標	指標名	単位									
	卒業記念品購入金額	円	316,430								

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策2 教育活動の質の向上			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	21世紀教育研究			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	教育支援課			事業の成果・分析	ICTの活用や主体的・対話的で深い学びの授業実践に必要な物品の購入について、研究費（補助金）を有効活用することができた。研究紀要等の印刷製本費が電子化により不要になることが予想されるため、事業費の低減が望める。校内での研究の方向性を検討する時間を確保するため、3年目の研究委嘱発表を終えた学校は1年間研究の方向性を探る期間にする、もしくは秋以降の研究主題決定を認める等の検討も必要である。教職員への研究委嘱については、今年度も応募が予定定数に満たなかった。個人・グループにおける実践を市内各校に広めるためにも重要な事業であり、教職員への周知を徹底していく必要がある。			
事業概要	市内の学校教育の一層の充実・発展のため市立小・中学校全校に3年間の研究を委嘱する。また、各種調査問題の傾向から、国が求めている授業のあり方や、調査結果から分かる児童生徒の学習上の課題を明確にし、学力向上につながる研修会を実施する。							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	新座市立小・中学校研究委嘱に関する要綱 等							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
予算・決算	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	財源内訳	予算現額 (円)		3,220,000				
		一般財源	3,220,000					
		特定財源	0					
	支出済額 (円)		3,153,376					
	不用額等 (円)		66,624					
執行率 (%)		97.93%						
実施内容		令和5年度から西堀小、第四小、柴小、新座小、第三中、第四中、第五中が研究を開始した。また、令和5年度に大和田小、東北小、野火止小、野寺小、新開小、陣屋小、第二中、第六小が研究発表を行った。また、個人研究として新堀小の工藤俊輔教諭が、グループ研究として野寺小の小津裕介教諭等が研究に取り組み、成果を発表した。						
活動指標・成果指標	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	指標名	単位						
	研究発表会開催回数	回	8					
	教職員研究委嘱人数(個人)	人	1					
	教職員研究委嘱人数(グループ)	グループ	1					
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了				
今後の取組方針		今後は学校研究だけではなく、個人・グループによる研究をより一層推進し、児童生徒の確かな学力の育成を目指す。また、学校研究として取り上げる主題の領域についても現代的な教育課題を認めていく。						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)					
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】						事業の実施状況	A	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず			
施策領域	第2節 学校教育						事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている			
施策項目	施策2 教育活動の質の向上						事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある			
事業	教育副読本整備						施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い			
所属	教育支援課						事業の成果・分析 目的としている児童生徒の郷土への理解と愛情育成、体力向上、進路、キャリア意識向上を達成するために活用することができた。特に、中学校社会科地域教材資料集及び小学校社会科副読本は、地域学習に無くてはならないものであり、活用されている。					
事業概要	児童生徒の郷土への理解と愛情育成、体力向上、進路、キャリア意識向上を目的として、副読本を各学校に配布する。											
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他											
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度											
根拠法令等	なし											
2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・決算	予算現額 (円)		4,145,000									
	財源内訳	一般財源	4,145,000									
		特定財源	0									
	支出済額 (円)		3,947,130									
	不用額等 (円)		197,870									
	執行率 (%)		95.23%									
実施内容		児童生徒の郷土への理解と愛情育成、体力向上、進路、キャリア意識向上を目的として、副読本を各学校に配布した。					今後の取組方針 学習指導要領改訂や教科書改訂に合わせて内容を改訂するとともに、毎年度内容を見直しで改善を図る。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度						令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位										
	中学校体育実技 中学校1年生各1冊	冊	1									
	埼玉県中学生活と進路 中学校各学年に40冊	冊	40									
	中学校社会科地域教材資料集 中1各1冊	冊	1									
小学校社会科副読本 小3・4各1冊	冊	1										

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	A	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策2 教育活動の質の向上			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	学校訪問指導員配置			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育支援課			事業の成果・分析	外部指導者による高い専門性に基づいた指導により、丁寧かつ具体的な教科指導法を学び、児童生徒への学習指導に生かすことができた。とくに、現在指導を依頼している教科は実技教科でより専門性の高い分野となるため、指導者活用による効果は高い。		
事業概要	小・中学校の教育充実のため、指導者を外部から招致する。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)		150,000				
	財源内訳	一般財源	150,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		135,000				
	不用額等 (円)		15,000				
	執行率 (%)		90.00%				
実施内容		学校訪問の指導者として主に、音楽分野、美術分野、技術・家庭科分で専門性の高い外部指導者を招致することで、分科会等の指導をとおりて教職員の授業力向上及び児童生徒の学力向上に資することができた。					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	学校訪問指導員 招致数	名	27				
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		学校訪問を通して、教職員の資質向上を図るために継続した外部指導者の活用の推進を図っていく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)						
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】						事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第2節 学校教育						事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策2 教育活動の質の向上						事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある				
事業	研修用図書（学校配当）						施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	教育支援課						事業の成果・分析	教員が学校で使用する共通のアイテム（教員用教科書や指導書等）については、教育支援課で一括購入したが、本事業では、学校毎に設定した研修や研究に必要な図書及び資料を購入した。					
事業概要	学校課題解決及び教育の充実を図るため、必要な教職員用の図書及び資料を購入する。												
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他												
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度												
根拠法令等	なし												
2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了					
予算・決算	予算現額（円）		575,000										
	財源内訳	一般財源	575,000										
		特定財源	0										
	支出済額（円）		556,000										
	不用額等（円）		19,000										
	執行率（％）		96.70%										
実施内容		研修や研究に使う教職員等の図書や資料を購入した。					教員の教育スキルを高め、授業へ還元することを目的とした研修や研究は、新座市の教育レベルを引き上げるために必要不可欠であることから、この研修や研究で必要となる図書及び資料の購入を、今後も引き続き行う。						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度							
活動指標・成果指標	指標名	単位											
	市内小中学校数	校	23										
今後の取組方針													

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策2 教育活動の質の向上			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	学校獣医師			施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育支援課			事業の成果・分析	学校獣医師制度を利用した学校の取り組み状況から、病気についての講話や飼育に当たっての諸注意等の指導を受け、正しい知識に基づいた飼育ができた。小動物等の飼育を通して動物と触れ合い、生命の大切さを実感させることができた。		
事業概要	児童が小動物と直接ふれあい、親しみを深め、生命の尊さを体感することができるよう、飼育方法・施設管理・環境整備等について、専門家から指導助言を得るため、学校獣医師を委嘱する。 学校獣医師指導校3校（第四小、栄小、陣屋小）						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	新座市学校獣医師制度実施要綱						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)		60,000				
	財源内訳	一般財源	60,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		40,000				
	不用額等 (円)		20,000				
	執行率 (%)		66.67%				
実施内容		令和5年度は2校（栄小と第四小）が学校獣医師制度を利用した。2校の取り組み状況から、病気についての講話や飼育に当たっての諸注意等の指導を受け、正しい知識に基づいた飼育ができた。小動物等の飼育を通して動物と触れ合い、生命の大切さを実感させることができた。					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	学校獣医師指導校数	校	2				
今後の方向性		IV		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		小動物と適切にふれあう機会を提供することで、生命の尊さを体感することができるようにする制度である。学校が獣医師を必要としない動物を飼育している場合もあり、制度を利用する学校が減少しているため、事業規模を見直していく必要がある。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	社会保障・税番号（マイナンバー）制度			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育総務課			事業の成果・分析	国及び県からの指示に応じて情報システム課と併せて負担金の支出を行った。		
事業概要	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）の施行に伴い、国等との安全な情報連携を実現するため、中間サーバを利用する。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額（円）		237,000				
	財源内訳	一般財源	237,000				
		特定財源	0				
	支出済額（円）		236,220				
	不用額等（円）		780				
	執行率（%）		99.67%				
実施内容		中間サーバー・プラットフォームの運用保守経費に係る負担金を支払った。					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		指標名	単位				
活動指標・成果指標	負担金支払回数	回	2				
				今後の方向性			
				Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
				今後の取組方針			
				継続して国及び県からの指示に応じて情報システム課と併せて負担金の支出を行う。			

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	小学校施設管理			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育総務課			事業の成果・分析	学校敷地内の設備における保守点検・維持管理業務委託において様々な是正事項が挙げられた。		
事業概要	小学校施設に係る維持管理を行う。						
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)		264,733,000				
	財源内訳	一般財源	87,491,000				
		特定財源	177,242,000				
	支出済額 (円)		172,016,233				
	不用額等 (円)		92,716,767				
	執行率 (%)		64.98%				
実施内容		*学校施設運営にかかる設備や清掃等の保守維持管理を行った。 例 水質検査、自家用電気工作物保守点検、東野小学校側溝清掃(R5)、校舎空調機借上料(R5)等”					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	業務委託件数(保守点検関係)	件	30				
今後の方向性				<div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">II</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針				学校敷地内の設備における保守点検・維持管理業務委託において、挙げられた様々な是正事項に対して段階的に修繕を行う。			

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)			3 事業評価 (Check)								
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】		事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず						
施策領域	第2節 学校教育		事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている						
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実		事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある						
事業	小学校施設修繕		施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い						
所属	教育総務課		事業の成果・分析	小学校施設の、突発的に発生する修繕や、経年劣化から起こる施設の修繕を行っているが、例年件数が多く今年度についても、年度末は予算が不足し流用等で対応をおこなった。また、優先順位を定めながら対応しているため可能な限り対応を行ったが、全ての対応が難しい状況であった。							
事業概要	小学校施設の老朽化等に対応する修繕を行う。										
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他										
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度										
根拠法令等	なし										
2 事業実績 (Do)			4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)								
予算・決算	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
	予算現額 (円)		33,103,000								
	財源内訳	一般財源	33,103,000								
		特定財源	0								
	支出済額 (円)		33,102,995								
	不用額等 (円)		5								
	執行率 (%)		100.00%								
実施内容			・陣屋小学校保健室天井換気扇修繕 ・八石小学校体育館アルミ引戸鍵修繕 ・片山小学校職員女子トイレ手洗い自動水栓修繕 他142件								
活動指標・成果指標	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針	件数の多い修繕に可能な限り対応できるよう事前に要望を取りまとめるなどし、対応していくとともに、適正な予算管理を行い、可能な限り対応できるよう行っていく。		
	指標名	単位									
	施設修繕件数	件	145								

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	小学校施設整備			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育総務課			事業の成果・分析	小学校施設の、突発的に発生する諸工事や、経年劣化から起こる施設の諸工事を行っているが、例年件数が多く今年度についても、年度末は予算が不足し流用等で対応をおこなった。また、優先順位を定めながら対応しているため可能な限り対応を行ったが、全ての対応が難しい状況であった。 設計監理業務及び改良改修工事については、予算のとおり実施できた。		
事業概要	小学校施設の維持補修及び改良改修を行う。						
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
予算・決算	予算現額 (円)		273,979,000						
	財源内訳	一般財源	54,592,000						
		特定財源	219,387,000						
	支出済額 (円)		191,890,156						
	不用額等 (円)		82,088,844						
	執行率 (%)		70.04%						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ■維持補修諸工事 <ul style="list-style-type: none"> ・東野小学校校庭内法面補修工事 他11件 ■改良改修諸工事 <ul style="list-style-type: none"> ・第四小学校門扉設置工事 他40件 ■設計監理委託・改良改修工事 (資産形成) <ul style="list-style-type: none"> ・第四、池田小学校校長舎長寿命化改修工事基本設計業務委託 他3件 ・西堀小学校ほか4校屋外トイレ改築工事 他2件 							
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
		指標名	単位						
活動指標・成果指標	維持補修諸工事件数	件	12						
	改良改修諸工事件数	件	41						
								件数の多い諸工事に可能な限り対応できるよう事前に要望を取りまとめるなどし、対応していくとともに、適正な予算管理を行い、可能な限り対応できるよう行っていく。 設計監理業務及び改良改修工事については、新座市学校施設長寿命化計画等に基づき、計画的に進めていく。	

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)								
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず					
施策領域		第2節 学校教育				事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている					
施策項目		施策3 教育環境の整備・充実				事業の効率性【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある					
事業		小学校用地借上				施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い					
所属		教育総務課				事業の成果・分析		当初の予定どおり遅延なく小学校用地借上に係る賃借料の支払いを行った。						
事業概要		学校運営に必要な学校用地の一部を借り上げる。 1 地権者 7人 2 借地 9,467.93㎡												
実施形態		<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他												
実施根拠		<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度												
根拠法令等		なし												
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)								
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
予算・決算	年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度							
	財源内訳	予算現額 (円)		16,706,000										
		一般財源		16,706,000										
		特定財源		0										
	支出済額 (円)		16,705,440											
	不用額等 (円)		560											
執行率 (%)		100.00%												
実施内容		土地賃貸借契約に基づき、小学校用地として借り上げている土地の賃貸借料、固定資産税及び都市計画税を年間3回に分けて支払いを行った。				継続して計画どおりに小学校用地借上に係る賃借料の支払いを行う。								
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度							令和8年度	令和9年度	
		指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針					
活動指標・成果指標	用地借上料支払回数		回	3										

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)					3 事業評価 (Check)					
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず			
施策領域	第2節 学校教育				事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている			
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実				事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある			
事業	小学校備品整備				施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い			
所属	教育総務課				事業の成果・分析 各小学校の直近数年間の備品整備状況を勘案し、偏りなく教育業務備品の整備を進めることができた。また、国の理科教育振興費国庫補助金を最大限活用して理科備品を整備することができ、教育環境の充足を図ることができたと考える。グランドピアノ等の高額な備品修繕についても、備品の老朽化具合を調査のうえ緊急性の高いものから計画的に修繕対応をすることができた。					
事業概要	小学校の施設備品、教材備品等の充実を図るとともに、現有備品の老朽化、破損等に伴う買換え等、備品の整備を行う。									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他									
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度									
根拠法令等	なし									
2 事業実績 (Do)					4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	Ⅲ	今後の方向性 I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
予算・決算	予算現額 (円)		25,426,000					一部の学校のみが充実して学校間における偏りが生じないよう、学校からの整備要望を整理しつつ、高額な教育業務備品の購入については必要性を、高額な備品修繕については緊急性をそれぞれ勘案しながら引き続き計画的に対応を進めていく。		
	財源内訳	一般財源	24,736,000							
		特定財源	690,000							
	支出済額 (円)		25,073,079							
	不用額等 (円)		352,921							
執行率 (%)		98.61%								
実施内容		学校からの整備要望に応じて、学校配当の範囲では購入や修繕が難しいものを教育総務課で取りまとめのうえ整備を行った。また、理科備品については理科教育振興費国庫補助金を活用して教育環境の充実を図った。 当該事業において実施した主な内容は以下のとおり。 ・生徒用机、椅子の整備 ・グランドピアノ等の高額な備品の修繕 ・オーグオメーター等の高額な備品の購入								
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針			
活動指標・成果指標	指標名	単位								
	理科教育振興費国庫補助金活用率	%	100							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)			3 事業評価 (Check)						
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】		事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第2節 学校教育		事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実		事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある				
事業	小学校図書整備		施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	教育総務課		事業の成果・分析	文部科学省が示す学校図書館図書の標準冊数を充足できるよう計画的に図書購入の予算配分及び購入・廃棄を実施することができた。					
事業概要	小学校の図書の整備・充実を図る。 また、蔵書データの保存や貸出業務、調べ学習等における図書の検索等を行うために、蔵書管理用コンピュータの維持管理を行う。 蔵書冊数 185,000冊(令和5年3月末見込み)								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他								
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度								
根拠法令等	なし								
2 事業実績 (Do)			4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 10px; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">Ⅲ</div> <div style="padding: 5px;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>	
予算・決算	予算現額 (円)		10,288,000						
	財源内訳	一般財源	10,288,000						
		特定財源	0						
	支出済額 (円)		10,285,596						
	不用額等 (円)		2,404						
	執行率 (%)		99.98%						
実施内容			各小学校の学級数や蔵書数に応じて予算配分を行い、図書室における図書の充実を図った。						
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	文部科学省が示す学校図書館図書の標準冊数を継続して充足できるよう、図書の購入及び廃棄を計画していく。 また、古くなって図書室での貸出が難しくなってしまった図書については、すぐに廃棄せず学級文庫として各学級に配架する等、可能な限り活用できるよう努める。	
活動指標・成果指標	指標名	単位							
	年度未蔵書冊数	冊	193,376						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)						
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず			
施策領域		第2節 学校教育				事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている			
施策項目		施策3 教育環境の整備・充実				事業の効率性【見直す余地】		B	A：余地はない B：余地はある			
事業		中学校施設管理				施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い			
所属		教育総務課				事業の成果・分析		学校敷地内の設備における保守点検・維持管理業務委託において様々な是正事項が挙げられた。				
事業概要		中学校施設に係る維持管理を行う。										
実施形態		<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他										
実施根拠		<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度										
根拠法令等		なし										
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="text-align: center; font-size: 36px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">II</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		学校敷地内の設備における保守点検・維持管理業務委託において、挙げられた様々な是正事項に対して段階的に修繕を行う。		
予算・決算	予算現額 (円)		101,182,000									
	財源内訳	一般財源	39,796,000									
		特定財源	61,386,000									
	支出済額 (円)		44,435,433									
	不用額等 (円)		56,746,567									
	執行率 (%)		43.92%									
実施内容		学校施設運営にかかる設備や清掃等の保守維持管理を行うもの。 例 水質検査、自家用電気工作物保守点検、第四中学校側溝清掃(R5)、校舎空調機借上料(R5)等										
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針				
		指標名	単位									
活動指標・成果指標	業務委託件数(保守点検関係)		件	21								

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	中学校施設修繕			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育総務課			事業の成果・分析	中学校施設の、突発的に発生する修繕や、経年劣化から起こる施設の修繕を行っているが、例年件数が多く今年度についても、年度末は予算が不足し流用等で対応をおこなった。また、優先順位を定めながら対応しているため可能な限り対応を行ったが、全ての対応が難しい状況であった。		
事業概要	中学校施設の老朽化等に対応する修繕を行う。						
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)							
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">今後の方向性</td> <td style="width: 10%; text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">II</td> <td style="padding: 5px;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の取組方針</td> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> 件数の多い修繕に可能な限り対応できるよう事前に要望を取りまとめるなどし、対応していくとともに、適正な予算管理を行い、可能な限り対応できるよう行っていく。 </td> </tr> </table>		今後の方向性	II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	今後の取組方針	件数の多い修繕に可能な限り対応できるよう事前に要望を取りまとめるなどし、対応していくとともに、適正な予算管理を行い、可能な限り対応できるよう行っていく。	
今後の方向性	II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了												
今後の取組方針	件数の多い修繕に可能な限り対応できるよう事前に要望を取りまとめるなどし、対応していくとともに、適正な予算管理を行い、可能な限り対応できるよう行っていく。													
予算・決算	予算現額 (円)	20,648,000												
	財源内訳	一般財源	20,648,000											
		特定財源	0											
	支出済額 (円)	20,618,977												
	不用額等 (円)	29,023												
	執行率 (%)	99.86%												
実施内容		・第四中学校屋外運動場スピーカー等修繕 ・第三中学校昇降口柱基礎修繕 ・第五中学校家庭科室流し場漏水修繕 他71件												
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度								
指標名		単位												
活動指標・成果指標	施設修繕件数	件	74											

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	中学校施設整備			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育総務課			事業の成果・分析	<p>中学校施設の、突発的に発生する諸工事や、経年劣化から起こる施設の諸工事を行っているが、例年件数が多く今年度についても、年度末は予算が不足し流用等で対応をおこなった。また、優先順位を定めながら対応しているため可能な限り対応を行ったが、全ての対応が難しい状況であった。</p> <p>設計監理業務及び改良改修工事については、予算のとおり実施できた。</p>		
事業概要	中学校施設の維持補修及び改良改修を行う。						
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; height: 100px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 10px; font-size: 24px; font-weight: bold;">II</div> <div style="font-size: 12px;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>			
予算・決算	予算現額 (円)	594,799,000								
	財源内訳	一般財源	46,725,000							
		特定財源	548,074,000							
	支出済額 (円)	581,994,585								
	不用額等 (円)	12,804,415								
	執行率 (%)	97.85%								
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ■維持補修諸工事 <ul style="list-style-type: none"> ・第六中学校消火管漏水補修工事 他5件 ■改良改修諸工事 <ul style="list-style-type: none"> ・第五中学校通級指導教室間仕切り設置工事 他11件 ■設計監理業務・改良改修工事 (資産形成) <ul style="list-style-type: none"> ・第四中学校屋外トイレ改築工事設計業務委託 他2件 ・各中学校屋内運動場・武道場空調設備設置工事 他4件 								
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	件数の多い諸工事に可能な限り対応できるよう事前に要望を取りまとめるなどし、対応していくとともに、適正な予算管理を行い、可能な限り対応できるよう行っていく。 設計監理業務及び改良改修工事については、新座市学校施設長寿命化計画等に基づき、計画的に進めていく。			
活動指標・成果指標	指標名	単位								
	維持補修諸工事件数	件	6							
	改良改修諸工事件数	件	12							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)							
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず			
施策領域		第2節 学校教育				事業の必要性【市民ニーズ】		B		A：高まっている B：変わらない C：薄れている			
施策項目		施策3 教育環境の整備・充実				事業の効率性【見直す余地】		A		A：余地はない B：余地はある			
事業		中学校用地借上				施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い			
所属		教育総務課				事業の成果・分析		当初の予定どおり遅延なく中学校用地借上に係る賃借料の支払いを行った。					
事業概要		学校運営に必要な学校用地の一部を借り上げる。 1 地権者 6人 2 借地 23,645.78㎡											
実施形態		<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他											
実施根拠		<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度											
根拠法令等		なし											
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)							
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性 <div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin: 10px 0;">Ⅲ</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・決算	予算現額 (円)		26,258,000										
	財源内訳	一般財源		26,258,000									
		特定財源		0									
	支出済額 (円)		26,257,170										
	不用額等 (円)		830										
	執行率 (%)		100.00%										
実施内容		土地賃貸借契約に基づき、中学校用地として借り上げている土地の賃貸借料、固定資産税及び都市計画税を年間3回に分けて支払いを行った。											
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の取組方針 <div style="padding: 10px 0;">継続して計画どおりに中学校用地借上に係る賃借料の支払いを行う。</div>	
活動指標・成果指標	指標名		単位										
	用地借上料支払回数		回		3								

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)							
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず			
施策領域		第2節 学校教育				事業の必要性【市民ニーズ】		B		A：高まっている B：変わらない C：薄れている			
施策項目		施策3 教育環境の整備・充実				事業の効率性【見直す余地】		A		A：余地はない B：余地はある			
事業		中学校備品整備				施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い			
所属		教育総務課				事業の成果・分析 各中学校の直近数年間の備品整備状況を勘案し、偏りなく教育業務備品の整備を進めることができた。また、国の理科教育振興費国庫補助金を最大限活用して理科備品を整備することができ、教育環境の充足を図ることができたと考える。グランドピアノ等の高額な備品修繕についても、備品の老朽化具合を調査のうえ緊急性の高いものから計画的に修繕対応をすることができた。							
事業概要		中学校の施設備品、教材備品等の充実を図るとともに、現有備品の老朽化、破損等に伴う買換え等、備品の整備を行う。											
実施形態		<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他											
実施根拠		<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度											
根拠法令等		なし											
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)							
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性 <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">Ⅲ</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・ 決算	予算現額 (円)		13,959,000										
	財源内訳	一般財源		13,476,000									
		特定財源		483,000									
	支出済額 (円)		13,728,253										
	不用額等 (円)		230,747										
執行率 (%)		98.35%											
実施内容		学校からの整備要望に応じて、学校配当の範囲では購入や修繕が難しいものを教育総務課で取りまとめのうえ整備を行った。また、理科備品については理科教育振興費国庫補助金を活用して教育環境の充実を図った。 当該事業において実施した主な内容は以下のとおり。 ・生徒用机、椅子の整備 ・グランドピアノ等の高額な備品の修繕 ・バスクラリネット等の高額な備品の購入											
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の取組方針 一部の学校のみが充実して学校間における偏りが生じないよう、学校からの整備要望を整理しつつ、高額な教育業務備品の購入については必要性を、高額な備品修繕については緊急性をそれぞれ勘案しながら引き続き計画的に対応を進めていく。	
活動 指標・ 成果 指標	指標名		単位										
	理科教育振興費国庫補助金活用率		%		100								

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)						
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある				
事業	中学校図書整備			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	教育総務課			事業の成果・分析	文部科学省が示す学校図書館図書の標準冊数を充足できるよう計画的に図書購入の予算配分及び購入・廃棄を実施することができた。					
事業概要	中学校の図書の整備・充実を図る。 また、蔵書データの保存や貸出業務、調べ学習等における図書の検索等を行うために、蔵書管理用コンピュータの維持管理を行う。 蔵書冊数 96,000冊(令和5年3月末見込み)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他									
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度									
根拠法令等	なし									
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
予算・決算	予算現額(円)		4,402,000				Ⅲ			
	財源内訳	一般財源	4,402,000						I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
		特定財源	0							
	支出済額(円)		4,399,423							
	不用額等(円)		2,577							
	執行率(%)		99.94%							
実施内容		各中学校の学級数や蔵書数に応じて予算配分を行い、図書室における図書の充実を図った。								
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針			
活動指標・成果指標	指標名	単位								
	年度未蔵書冊数	冊	101,175							
今後の方向性		文部科学省が示す学校図書館図書の標準冊数を継続して充足できるよう、図書の購入及び廃棄を計画していく。 また、古くなって図書室での貸出が難しくなってしまった図書については、すぐに廃棄せず学級文庫として各学級に配架する等、可能な限り活用できるよう努める。								

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	中学校樹木管理			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育総務課			事業の成果・分析	今年度は、各中学校からの剪定要望に対応することができた。しかしながら、各中学校敷地内の樹木が全体的に大きくなっていることや老朽化が進んでいることから突発的な剪定とは別に計画的に剪定を行っていく必要がある。		
事業概要	中学校樹木の維持管理に係る剪定・清掃を行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)		6,260,000				
	財源内訳	一般財源	6,260,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		6,127,108				
	不用額等 (円)		132,892				
	執行率 (%)		97.88%				
実施内容		中学校敷地内の樹木の剪定、害虫駆除等に係る維持管理及び学校による剪定、草刈りの際に発生した枝草等の清掃及び処分を行った。					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	草刈及び樹木剪定等業務委託	件	12				
	樹木清掃業務委託	件	2				
今後の方向性				I	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了		
今後の取組方針				各中学校敷地内の樹木が全体的に大きくなっていることや樹木の老朽化が進んでいることから、今後は突発的な剪定に加えて計画的な剪定を順次行っていく予定である。			

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	A	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	中学校コンピュータ教育推進			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育総務課			事業の成果・分析	新座市は県内でもトップクラスにGIGAスクール構想で整備した端末の故障率が多く、端末修理の頻度が高すぎることに伴う予備機の払底が発生している。また、予備機が払底するという背景から、多少の故障・破損では修理依頼をせず、学期末や年度末まで溜め込んで一括して修理依頼をかけるといった学校も存在している。一括で修理依頼をかけることによりメーカー側も一時的に修理対応の需要が高まり、想定以上に修繕完了までの時間を要しているといった悪循環が生じている。		
事業概要	情報化社会に対応した学習環境を整備するため、GIGAスクール構想に基づき、可動式コンピュータ等を活用して、ICT教育水準の維持向上を図る。また、GIGAスクール構想で導入した可動式コンピュータと連携して学校教育の幅を広げるため、中学校の各教室に電子黒板を導入する。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">II</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
予算・決算	予算現額 (円)	43,340,000					
	財源内訳	一般財源	40,934,000				
		特定財源	2,406,000				
	支出済額 (円)	41,496,093					
	不用額等 (円)	1,843,907					
	執行率 (%)	95.75%					
実施内容		GIGAスクール構想に基づき整備した稼働式コンピュータについて、中学校における積極的な利活用に伴い端末の故障率が増加していることから、修理に係る修繕費用の負担軽減を目的に財産補償保険に加入した。また、故障から端末引上げ・代替機の配布、事故報告書等の書類作成を含めた修理依頼及び保険申請までの業務を一元化し、それぞれのフェーズにおける待ち時間を極力減らせるよう、稼働式コンピュータの保守業務委託を締結して教職員の業務負担軽減を図った。					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	年間端末故障率	%	11.7				

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)						
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第2節 学校教育					事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実					事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある				
事業	第二中学校校長寿命化改修					施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	教育総務課					事業の成果・分析	昭和46年10月に建築し52年が経過した第二中学校校舎の長寿命化改修工事（1期）を実施した。学校の夏休み期間に内部改修を集中的に実施し学校運営に支障がないよう改修したが、1か月程度の期間しかなく工程管理等が非常に困難であった。					
事業概要	第二中学校校長寿命化改修工事及びその工事監理業務委託を実施する。											
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他											
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度											
根拠法令等	なし											
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 10px; font-size: 24px; font-weight: bold;">II</div> <div style="font-size: 12px;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>		
予算・決算	予算現額 (円)		861,829,000									
	財源内訳	一般財源		88,000								
		特定財源		861,741,000								
		支出済額 (円)		88,000								
		不用額等 (円)		861,741,000								
		執行率 (%)		0.01%								
		実施内容	第二中学校校長寿命化改修工事は令和5年度から令和7年度の3か年を予定しており、令和5年度は1期目の工事を実施した。									
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			工事期間の分散化、工事内容の簡易化および工区分けの見直し等を図り、夏休み期間中の集中工事を容易に行なえるよう進めていく。		
活動指標・成果指標	指標名	単位										
	維持補修諸工事件数	件		1								

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	給食室施設管理			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育総務課			事業の成果・分析	給食室の設備における保守点検・維持管理業務委託において様々な是正事項が挙げられた。		
事業概要	学校給食の安全性と衛生及び安定した供給確保のため、給食室及び関連設備の各種点検などの施設の管理を行う。						
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算 ・ 決算	予算現額 (円)		11,212,000				
	財源内訳	一般財源	11,212,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		10,706,707				
	不用額等 (円)		505,293				
	執行率 (%)		95.49%				
実施内容		学校施設運営にかかる設備や清掃等の保守維持管理を行った。 例 グリストラップ清掃、小荷物専用昇降機保守点検、給食室空調機借上料(R5)等					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標 ・ 成果 指標	指標名	単位					
	業務委託件数(保守点検関係)	件	5				
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		学校敷地内の設備における保守点検・維持管理業務委託において、挙げられた様々な是正事項に対して段階的に修繕を行う。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)												
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず									
施策領域		第2節 学校教育					事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている									
施策項目		施策3 教育環境の整備・充実					事業の効率性【見直す余地】		B	A：余地はない B：余地はある									
事業		給食室施設修繕					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い									
所属		教育総務課					事業の成果・分析		小・中学校施設の、突発的に発生する修繕や、経年劣化から起こる施設の修繕を行っており、優先順位を定めながら対応しているため可能な限り対応を行ったが、全ての対応が難しい状況であった。										
事業概要		小・中学校給食施設の老朽化等に対応する修繕を行う。																	
実施形態		<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他																	
実施根拠		<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度																	
根拠法令等		なし																	
2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)												
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了								
予算・決算	予算現額 (円)		9,600,000							今後の取組方針					件数の多い修繕に可能な限り対応できるよう事前に要望を取りまとめるなどし、対応していくとともに、適正な予算管理を行い、可能な限り対応できるよう行っていく。				
	財源内訳	一般財源	9,600,000																
		特定財源	0																
	支出済額 (円)		9,513,735																
	不用額等 (円)		86,265																
	執行率 (%)		99.10%																
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第四小学校給食室調理釜横水栓修繕 ・ 第五中学校給食配膳室壁修繕 ・ 片山小学校給食控室空調機修繕 他108件 																	
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度												
		指標名	単位																
活動指標・成果指標	施設修繕件数		件	111															

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	給食室施設整備			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育総務課			事業の成果・分析	小・中学校施設の、突発的に発生する諸工事や、経年劣化から起こる施設の諸工事を行っており、年度末は予算が不足し流用等で対応をおこなった。また、優先順位を定めながら対応しているため可能な限り対応を行ったが、全ての対応が難しい状況であった。		
事業概要	学校給食の安全性と衛生及び安定した供給確保のため、小・中学校給食施設の維持補修又は改良改修などの施設整備を行う。						
実施形態	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	なし						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)		7,100,000				
	財源内訳	一般財源	7,100,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		6,897,990				
	不用額等 (円)		202,010				
	執行率 (%)		97.15%				
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ■維持補修諸工事 ・第三中学校小荷物専用昇降機制御盤等補修工事 他2件 ■改良改修諸工事 ・大和田小学校配膳室扉改修工事 他5件 					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	維持補修諸工事件数	件	3				
	改良改修諸工事件数	件	6				
今後の方向性		II					
今後の取組方針		高額となる諸工事に可能な限り対応できるよう事前に要望を取りまとめるなどし、対応していくとともに、適正な予算管理を行い、可能な限り対応できるよう行っていく。 設計監理業務及び改良改修工事については、新座市学校施設長寿命化計画等に基づき、計画的に進めていく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	C	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	入学準備金・奨学金貸付			施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析	<p>新座市入学準備金・奨学金貸付制度は、経済的理由により就学困難な方へ教育資金を貸し付けし、教育の機会均等に資することを目的として事業を実施していたが、高校の授業料無償化をはじめとする近年の国や県の制度拡充を受け、平成21年度の貸付者数（39名）をピークに減少し続けている。これらの諸事情を踏まえ、令和6年度をもって事業廃止予定である。令和5年度については入学準備金は5名、奨学金は1名の新規貸付を行った。また、奨学金については在学中の6名について継続貸付を行った。</p> <p>【入学準備金】私立大学2名 公立大学1名 私立専修1名 公立高校1名 【奨学金新規】私立大学1名 【奨学金継続】私立大学6名</p>		
事業概要	進学又は在学において、能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な者のために、入学準備金又は奨学金の貸付けを無利子で行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	新座市入学準備金・奨学金貸付条例及び新座市入学準備金・奨学金貸付条例施行規則						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; height: 100px;"> <div style="text-align: center; font-size: 48px; font-weight: bold; margin-right: 10px;">V</div> <div style="font-size: 12px;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>
予算・決算	予算現額 (円)	6,580,000					
	財源内訳	一般財源	6,580,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)	4,480,000					
	不用額等 (円)	2,100,000					
	執行率 (%)	68.09%					
実施内容		経済的理由により就学困難な方へ教育資金を貸し付けし、教育の機会均等に資することを目的として、事業を実施している。 入学準備金について年3回、奨学金について年2回申請受付を行った。					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	近年の国や県の制度拡充を受け、利用者が減少していることなどから、令和6年度第1回奨学金貸付申請の受付をもって終了することとなった。 新たな制度として、新座市入学準備金・奨学金利子補給制度を令和6年度から実施予定である。
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	入学準備金	円	2,800,000				
	奨学金	円	1,680,000				

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある	
事業	コミュニティ・スクール推進			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析	全小・中学校23校にて年間4～6回の学校運営協議会を実施した。児童生徒の様子を参観し、現状の成果と課題を共通理解し、課題の解決策及び今後必要な支援策を協議し、学校の教育活動の推進に寄与している。学校の自己評価及び児童生徒アンケート、保護者アンケートをもとに、学校関係者評価について各学校で作成し、次年度以降の教育活動の改善にむけて学校と共有が図られた。		
事業概要	地域ぐるみで、児童生徒の健全育成を目指し、既存の学校評議員、PTA、学校応援ボランティア団体等の再編成と活性化を進め、学校を総合的に支援する学校運営協議会の充実に取り組む。 市内全小・中学校23校において活動を推進する。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)		1,385,000				
	財源内訳	一般財源	1,385,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		1,195,000				
	不用額等 (円)		190,000				
	執行率 (%)		86.28%				
実施内容		地域ぐるみで児童・生徒の健全育成のために、学校を総合的に支援する学校運営協議会を市内全小・中学校23校に設置及び活動の推進。 ・令和5年度 23校 構成委員：保護者・地域関係者179名 小・中学校長23名					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	構成人数	人	202				
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了			
今後の取組方針		コミュニティ・スクールの全校配置は、県内でも早い段階から実現し、県内・全国的に大きく広がりを見せている。今後は、現在の活動を随時見直し、さらに高い保護者・地域連携を推進する組織として、活動の充実を図る。中学校区単位での拡大大学校運営協議会の実施についても検討し、一つの学校の取組みではなく、中学校区の地域を単位として協働活動を実施していく。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)			3 事業評価 (Check)						
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】		事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず				
施策領域	第2節 学校教育		事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている				
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実		事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある				
事業	要保護及び準要保護児童生徒就学援助（中学校）		施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い				
所属	学務課		事業の成果・分析	経済的理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に対し、必要な援助を行った。認定者数は微減傾向にあるが、認定率は依然として11%超となっており、今後も事業の継続が必要である。					
事業概要	経済的理由により教育の機会が失われないように、学齢生徒の保護者等に対し、就学に伴う費用を援助する。								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他								
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度								
根拠法令等	新座市就学援助事務取扱要綱								
2 事業実績 (Do)			4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	<div style="text-align: center; font-size: 36px; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">Ⅲ</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・決算	予算現額（円）		70,721,000						
	財源内訳	一般財源	70,112,000						
		特定財源	609,000						
	支出済額（円）		64,414,500						
	不用額等（円）		6,306,500						
	執行率（%）		91.08%						
実施内容			経済的理由により教育の機会が失われないように、学齢生徒の保護者等に対し、就学に伴う費用を援助した。 ・認定数：515人（要保護19人、準要保護496人） ・援助内容：学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費、修学旅行費、林間学校費、医療費、通学費、学校給食費及びオンライン学習費						
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後も経済的な理由により教育の機会が失われないように、就学困難と認められる学齢生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、学校給食費等の援助を行っていく。	
活動指標・成果指標	指標名	単位							
	認定率	%	11.88						
	認定人数（準要保護）	人	496						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	学校給食管理			施策への貢献度	B	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	学務課			事業の成果・分析 給食室の清潔さや調理員及び栄養士の健康は、学校給食を口にする児童生徒に直接影響が出るため、常に高水準の衛生環境が求められるが、それを維持することができた。今後もシティブロモーション方針として「首都近郊で戸建て住宅を取得しようとしている30歳代の子育て世代」を呼び込むのであれば、支援金等だけではなく、日々児童生徒が口にする学校給食を作る給食室の表面化しづらい問題解決に向けて、より一層の充実に向けて検討していく必要がある。				
事業概要	学校給食の安全性と衛生及び安定した供給の確保のため、定期的な各種衛生検査を行う。また、公立小・中学校の保護者の負担軽減として、給食費改定分の支援を実施する。							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	学校給食法							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
予算・ 決算	予算現額 (円)		120,994,000					
	財源内訳	一般財源	105,361,000					
		特定財源	15,633,000					
	支出済額 (円)		113,569,600					
	不用額等 (円)		7,424,400					
	執行率 (%)		93.86%					
実施内容		・会計年度調理員報酬及び費用弁償等支払い、調理員・栄養士・学務課職員検便検査、学校給食管理システム使用、学校給食費支援、給食室調理機器修繕 (毎月) ・学校給食保存食用食料費負担 (6月) ・会計年度調理員健康診断委託、調理員夏季研修会、調理員用作業衣購入 (8月) ・食品大腸菌群定性検査業務委託、学校給食用食料細菌検査等業務委託 (7、9月) ・野寺小給食室改修工事に伴う仕出し弁当提供 (9月～12月) ・学校給食施設ねずみ・害虫防除業務委託 (5、7、9、11、1、3月)						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
指標名		単位						
活動 指標・ 成果 指標	各種衛生検査実施回数	回	34					
	学校給食費支援金額	円	72,880,900					
今後の方向性		II		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了				
今後の取組方針		適切に衛生検査等を実施しつつ、随時調理機器の不具合に合わせて迅速に修繕を行い、より一層円滑な給食室の運用を図っていく。特に、故障した給食室調理機器備品等を修繕により長期使用しているものが多いため、耐用年数を考慮して修繕と購入の費用対効果を財政課に随時情報共有し、設備の更新時期を逃さないようにする。						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)				
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある		
事業	学校給食運営			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属	学務課			事業の成果・分析 給食室内で使用する調理器具類は、老朽化したものを使用し続けると錆や部品等が食物に混入することもあるため、定期的な入れ替えが求められるが、それを実施することができた。また、当該器具類を洗浄するための洗剤も必要数の購入や、換気扇清掃により衛生環境も整えることができた。 しかしながら、調理器具類や洗剤の単価が上昇しているため、予算の執行に苦慮もした。今後もシティプロモーション方針として「首都近郊で戸建て住宅を取得しようとしている30歳代の子育て世代」を呼び込むのであれば、日々児童生徒が口にする学校給食を作る給食室の表面化しづらい問題解決に向けて、より一層の充実に向けて検討していく必要がある。				
事業概要	学校給食業務の運営を行う。							
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度							
根拠法令等	学校給食法							
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)				
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性 <div style="text-align: center; font-size: 36px; font-weight: bold; margin: 10px 0;">II</div> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・ 決算	予算現額 (円)		120,049,000					
	財源内訳	一般財源	120,049,000					
		特定財源	0					
	支出済額 (円)		114,563,025					
	不用額等 (円)		5,485,975					
執行率 (%)		95.43%						
実施内容		・学校給食調理関連消耗品（箸、食器、揚げザル、洗剤、ペーパータオル等）購入（毎月） ・施設（給食室）用燃料購入（毎月） ・上下水道、電気使用（毎月） ・一般廃棄物収集運搬処理委託（毎月） ・天井換気扇等清掃業務委託（4、8、3月）						
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の取組方針 適切に調理器具類の入替を実施しつつ、換気扇の清掃を行い、より一層円滑な給食室の運用を図っていく。 また、予算に合わせてより良い調理器具類を導入する。 特に、給食室調理器具の劣化による異物混入等を回避するため、現状を財政課に随時情報共有し、器具の拡充を図る。	
活動 指標・ 成果 指標	指標名	単位						
	学校給食調理関連消耗品購入額	円	23,149,122					
	天井換気扇等清掃業務委託実施回数	回	3					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	学校給食調理委託			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析 市内小・中学校23校のうち、21校の学校給食調理業務委託を継続契約し、安心安全な給食を提供した。 直営校2校（野寺小、東野小）について、市調理員の高齢化と人材不足を考慮し民間委託の時期を早め、全村民間委託し安定した給食提供をしていく必要がある。			
事業概要	学校給食調理業務の民間委託を順次推進する。 委託実施校 小学校 15校（大和田小、西堀小、片山小、第四小、八石小、東北小、野火止小、池田小、新堀小、栄小、石神小、新開小、栗原小、陣屋小、新座小） 中学校 6校（全校）						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	学校給食調理業務の民間委託に関する基本的事項、新座市学校給食調理業務委託業者選考						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額 (円)		501,854,000				
	財源内訳	一般財源	501,854,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		501,853,110				
	不用額等 (円)		890				
	執行率 (%)		100.00%				
実施内容		市内小・中学校23校のうち、21校の学校給食調理業務委託を継続契約。 委託実施校 小学校 15校（大和田小、西堀小、片山小、第四小、八石小、東北小、野火止小、池田小、新堀小、栄小、石神小、新開小、栗原小、陣屋小、新座小） 中学校 6校（全校）					
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		指標名	単位				
活動指標・成果指標	委託実施校	校	21				
		今後の方向性 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 48px; font-weight: bold; margin-right: 10px;">I</div> <div style="text-align: left;"> I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了 </div> </div>					
		今後の取組方針 直営校2校（野寺小、東野小）の民間委託に関して、市調理員の高齢化と人材不足の影響により安定な給食提供に支障が出ているため、早期民間委託の必要がある。そのため、関係課とも協議・調整をし給食室改修工事の早期完成を図る。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	学校給食備品整備			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	学務課			事業の成果・分析	給食室内で使用する給食調理機器備品は、老朽化したものを使用し続けると錆や部品等が食物に混入することもあるため、定期的な入れ替えが求められるが、一部については実施することができた。 しかしながら、給食調理機器備品の単価が上昇しており、予算の執行に苦慮もした。また、購入後20年以上経過している備品も多く、故障による事故等の発生の懸念がある。今後もシティブロモーション方針として「首都近郊で戸建て住宅を取得しようとしている30歳代の子育て世代」を呼び込むのであれば、日々児童生徒が口にする学校給食を作る給食室の表面化しづらい問題解決に向けて、より一層の充実に向けて検討していく必要がある。		
事業概要	給食調理の衛生管理上、必要となる調理備品の新規購入及び買換えを行う。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	学校給食法						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算・決算	予算現額 (円)		51,389,000				
	財源内訳	一般財源	51,389,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		51,388,865				
	不用額等 (円)		135				
執行率 (%)		100.00%					
実施内容			給食調理機器備品購入 (5、9、1、2月) ※野寺小学校給食室改修工事に伴う備品入替も含む				
		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	給食調理機器備品購入額	円	51,289,865				
				今後の方向性	II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
				今後の取組方針	適切に給食調理機器備品の入替を実施、より一層円滑な給食室の運用を図っていく。 また、予算に合わせてより良い給食調理機器備品を導入する。 特に、給食室調理機器備品の老朽化、設置スペースの狭小化による異物混入や献立の格差解消に対応するため、適切に給食調理機器備品の入替を実施、より一層円滑な給食室の運用を図っていく。 また、予算に合わせてより良い給食調理機器備品を導入する。 特に、給食室調理機器備品の老朽化、設置スペースの狭小化による異物混入や献立の格差解消に対応するため、現状を財政課及び教育総務課に随時情報共有し、設備の拡充を図る。		

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)				3 事業評価 (Check)			
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】			事業の実施状況	A	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域	第2節 学校教育			事業の必要性【市民ニーズ】	A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実			事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある	
事業	学校ふるさと支援			施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属	教育支援課			事業の成果・分析	<p>①自然に触れる機会が減少している昨今において、学校農園は子供たちが土や植物に触れ、自然と触れ合う貴重な機会を提供することができている。</p> <p>②具体的に作物を育て、収穫する経験を通して、食の大切さ、自然との循環、または食材の生産から消費までの過程を理解する機会になっている。</p> <p>③科学的な観察や実験の一環として、作物の成長プロセスを観察したり、気候や季節の変化との関連性を学ぶことができている。</p> <p>上記のように、高い教育効果がある取組ではあるが、農地や支援員の有無等、各校で差がある実態もあるので、今以上に広く協力者を募る必要がある。</p>		
事業概要	小・中学校の立地条件をいかした自然体験を通して、児童・生徒に自然保護に向かう心と情操を育むとともに、学校緑化を推進し、緑にあふれるふるさと新座を愛する市民を育成する「学校ふるさと構想」に基づき、学校教育林及び学校教育農園を設置する。						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他						
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度						
根拠法令等	教育基本法 学習指導要領						
2 事業実績 (Do)				4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)		2,230,000				
	財源内訳	一般財源	2,230,000				
		特定財源	0				
	支出済額 (円)		1,943,719				
	不用額等 (円)		286,281				
	執行率 (%)		87.16%				
実施内容		令和2年度より、学校教育農園を全小・中学校で実施。うち12校では地域の方に協力をいただき、校外に教育農園を設置し、作物を育て、収穫する体験から子供たちの豊かな心を育成している。また、令和5年度は計13名の農業支援員の方々にも協力をいただき、専門的な知識の伝授とともに、安全安心に体験活動を行うことができている。また学校教育林についても活用している小学校があり、生活科や理科等の授業で学びを深めている。					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位					
	学校教育農園設置校数	校	23				
	農業支援員	人	13				
今後の方向性				<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="font-size: 36px; font-weight: bold; margin-right: 10px;">II</div> <div style="text-align: left;"> <p>I：事業規模拡大</p> <p>II：改善しながら継続</p> <p>III：現状のまま継続</p> <p>IV：事業規模縮小</p> <p>V：事業廃止</p> <p>VI：事業終了</p> </div> </div>			
今後の取組方針				<p>子供たちは、変化を全身で感じ、自然のすばらしさに畏敬の念を払い、自然を大切にしようとする豊かな心を育んでいる。生命尊重や自然環境の大切さを学び、豊かな情操を培っていけるように、更なる指導の工夫・改善が必要である。</p> <p>学校教育林については、用地の確保が難しくなっていることから、今後の維持、継続について確認しながら進める必要がある。</p>			

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)		3 事業評価 (Check)	
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】	事業の実施状況	B A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域	第2節 学校教育	事業の必要性【市民ニーズ】	B A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目	施策3 教育環境の整備・充実	事業の効率性【見直す余地】	B A：余地はない B：余地はある
事業	交通安全活動	施策への貢献度	B A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属	教育支援課	事業の成果・分析	令和4年度に交通指導員が3名退職し、その箇所に、交通マネー案内員及び代替員を配置することができた。 交通指導員は、新入学児童交通安全教室、自転車免許試験等の学校行事に可能な方は、参加してもらった。 交通マネー案内員の勤務態度等に関する要望等が多くあった。 自転車大会に池田小学校が出場したが、事務移管したことや新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大会中止していたことから、事務の進め方を把握できず、苦労した。
事業概要	主に小学生の登下校時の交通安全を図り、安全通行並びに交通道徳の高揚及び交通秩序の確保に努めるため、交通指導員を配置する。 また、交通指導員の欠員箇所や、交通施設が設置されるまでの間、交通秩序の確保が特に必要な箇所に交通マネー案内員等を配置する。 交通安全子供自転車埼玉県大会へ参加する。		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
根拠法令等	新座市交通指導員の勤務条件等に関する規則		

2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
予算・決算	予算現額 (円)		48,890,000				II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
	財源内訳	一般財源	48,890,000					
		特定財源	0					
	支出済額 (円)		47,875,813					
	不用額等 (円)		1,014,187					
	執行率 (%)		97.93%					
実施内容		通学路の交通安全及び指導を行うため、交通指導員を配置した。 なお、交通指導員の欠員箇所においては、公益社団法人新座市シルバー人材センター等に委託し、交通マネー案内員等を配置した。 (1) 勤務場所 市内通学路の交差点等58か所 (2) 勤務時間 午前1時間、午後2時間を標準として、1日3時間 (3) 配置箇所 交通指導員29か所、交通マネー案内員26か所、代替員3か所 自転車大会に池田小学校が出場した。					今後の取組方針	交通指導員の新規採用は廃止したことから、交通指導員が退職した場合、交通マネー案内員及び代替員を配置するよう事務を進めていくが、人材不足で配置できない事案が発生したことがあることから、代替案も検討していく。 交通マネー案内員の勤務態度等に関する要望等が多かったことから、シルバー人材センターと会員への指導について、協力していく必要がある。 交通指導員の時給は固定給にしているが、他の会計年度任用職員との時給額と比較し、時給を上げることも検討していく必要がある。 配置箇所については、配置基準等を定めていくこと、配置箇所を変更や削減していくことを検討していく。 令和7年度以降の自転車大会への出場について、検討していく必要がある。
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
指標名		単位						
活動指標・成果指標	交通指導員配置箇所	か所	29					
	交通マネー案内員配置箇所	か所	26					
	交通指導員代替員配置箇所	か所	3					